



おおきく 豊かに たくましく



宮小っ子 2023

野田市立宮崎小学校
校長室通信 NO.4
令和5年6月29日(木)
校長 小川 恵美

～野田市小学校陸上大会 挑戦・競い合いの宮小っ子！大活躍～

6月7日(水)野田市総合公園陸上競技場において開催された野田市小学校陸上競技大会に運動部の44人の選手が参加しました。どの子ども、選手になれなかった友達の分までがんばる、という意気込みで大会に臨みました。結果は次のとおりです。

結果	女子5位	総合6位
Jr100M	男子 8位	100M 男子 4位
Jr4×100MR	男子 6位	4×100MR 男子 7位
Jr100M	女子 7位	100M 女子 2位
80MH	女子 6位	7位
J4×100MR	女子 3位	4×100MR 女子 6位



私は、陸上大会出場を前に、選手たちには2つのことをがんばるよう話をしました。

1 大会では、自己ベストができるよう、最後まであきらめずにがんばること

校庭に比べ陸上競技場はコンディションがよいところとはいえ、はじめての場所・緊張・多くの観客の前でという状況下において力を発揮することは容易ではないでしょう。どの子どもよくがんばりました。自己ベストが出た選手がたくさん。そして、「最後まであきらめませんでした。」という言葉が返ってきて本当に感激しました。

2 大会でのマナーは100点満点をとること

さすが各学校の代表とあって、どの学校の選手も素晴らしい態度。すると、他校の校長先生が「宮崎小の児童が、あかるく気持ちの良い、さわやかなあいさつをしてくれ、とても気持ちがよかったですよ。」と教えてくださいました。また、「高跳びのバーが落ちる度に拾い上げる選手がいました。宮小の児童です。こんな選手、見たことありません。」と大会にいた先生が伝えてくださいました。驚き、うれしく、誇らしく感じました。

大会に参加した宮小っ子の感想です。喜びとがんばりと、あきらめなかった姿、そして「考えながら取り組んだ姿」、感謝の心が見えてきます。



(ボールスロー)

5年Y シャドー、フォーム確認などの練習をした。うれしかったこと：自己ベストがでたこと。

6年S はじめて陸上大会に出て、きんちょうしたけど全力を出し切りました。8位にはいけなかったけど、30mはこえてうれしかったです。

5年T ボールを遠くにとばすためにドッジボールのボールを使って練習した。みんななぜあんなにボールがとぶのか、しっかり観察しながら、まねしようと思った。



(走り幅跳び)

6年A 自分の思っている記録だせなかったけど、3回目に一番いい記録がでたし、足もびったりあってよかったと思いました。

6年K 歩幅合わせや走り幅跳びのこつについて調べた。みんなが応援してくれてうれしかった！！本番は練習とちがって、緊張や恐怖心がでてしまったけど、自分なりに全力を出せたと思う。

6年T 練習：記録をはかったり、ポイントを先生に教えてもらったりしました。何回も飛んでいると記録がのびてうれしくなりました。走り幅跳びの補欠で、大会には出られなかったけど、みんなのことをたくさん応援できたので、本当によかったと思います。これから中学になるまで、休まず行きたいなと思います。

6年O 5年生の時は出られなかったから出られたことがうれしい。練習の時よりも、とべなくてくやしかったけど、自分なりにがんばれたと思います。



(走り高跳び)

6年N 今までの最高が105cmでした。110cmを飛べるように足上げや目線など、先生に教わりながら練習しました。自己ベストはだせなかったけど、最後まであきらめずにがんばりました。全然緊張せず、たのしく精いっぱい取り組みました！

6年F コーンをまたいだり、鉄棒で足上げをしたりする練習をした。本番の陸上大会で自己ベストはだせなかったけど、自分たちの練習の成果をだせて全力でやったけどとべなかったから、次

あるときはとべるようになりたい。1位の人が1m23cmをとんでいたからとべるように練習して、その人をこえられるようにがんばりたいです。

6年S 練習：とんだあと、どこを向くかとか、地面をつよく踏んでとぶとか、足上げ練習とか、体をどのように動かすかをやりました。高跳びの選手にはなれなかったけれど、他の選手を見て応援したら気分がほっとした。

(80MH)

6年O 一つ一つのことを意識して、きれいな形をつくるためにがんばりました！歩数、飛び方、スタートダッシュ、全ていつもよくがんばった。意外と他校の子が速くてびっくりした。でも、4組の中で1位をとれたし、自己ベストを出せたり、入賞もできたりし、とってうれしかったです！！校長先生が言っていた自己ベストをとれたのが一番うれしかったです！

6年Y ハードルでは足抜きの練習で柔軟をした。うれしかったことは7位で入賞できたことです。でも目標は5位だったので、中学生になったら優勝できるようにしたいです。飛ぶときに足を伸ばせるように意識して練習したいです。

5年Y 練習：ストレッチ、ドリル、スタブプロの練習、ラダー、ミニハードル、ダッシュ、丸太をまたぐ練習、走る、ハードル。最後のハードルでこけてしまったけど、あきらめなくて走りきれた。

5年Y ハードル・・・前にとんでタイムを速くするようにがんばった。リレー・・・バトンをとさずに渡す練習をした。来年は補欠ではなく、選手で出ていきたいです。みんなを全力で応援できてよかったです。

5年T 友達の選手が最後まで走り切ったことがうれしかったです。

5年K ハードルをとぶ練習やスタートの練習をした。うれしかったこと：自己ベストがでたこと。

(800M・1000M)

6年A スタートダッシュをつける練習。同じペースで走り続ける練習等をしました。去年は転んでしまい全力を出し切れず、くやしい思いをしましたが、今回は転ばずに全力で走りきることができました。そして、自己ベストを更新できました。このような結果を出せたのは、指導してくださった先生方や校内や会場でおうえんしてくれた皆さんのおかげです！本当にありがとうございました。

6年H 練習：校庭を走ったり、ダッシュをたくさんしたりした。うれしかったこと：自己ベストが出せたこと、大会に出れたこと、他校の人と戦えたこと。

保護者の声 T.Oさん：ゴール目指し、最後まであきらめなくて走る姿や、友達と息を合わせてバトンをつないで走る姿は、一生の宝物となりました。一生懸命練習を頑張った成果が発揮された感動的な一日となりました。ご尽力くださった先生方、そして一緒に頑張ったお友達に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

.....

T.Oさんの喜びが伝わってきます。一生の宝物ですね！！
バトンがつながった瞬間の安堵感と達成感、感動でした。

(Jr100M)

5年M 練習：100Mをスタブプロをつけて走ったり、3mダッシュとかもも上げ。私は補欠なので、選手の人たちに応援をがんばりました。

5年W スタブプロに慣れて、100m走をはかったり、いろいろ練習をしてきました。決勝に行けなくて悔しかったけど、自分の自己ベストを出せてよかった。全力を出し切れてよかったです。

5年Y 100mをたくさん走る。どうしたら速く走れるかよく考えたり、速い人を見て研究したりした。うれしかったこと：Jr100mで決勝に行けたこと。

5年K 短い距離を走って、瞬発力を極めました。いっぱい速い人がいたけど、走りきれたので良かった。

(100M)

6年O ドリルや200mをダッシュしたり、たまに100mのタイムをはかったりしました。去年は4位で入賞でしたが、今年は2位でメダルがもらえました。たくさん練習したかいがあったと思います。土日、親と練習をして、親も大会に向けて手伝ってくれたので、親に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

(Jr4×100MR)

5年T 仲間といっしょに100m、ドリル、スターティングブロック、リレーのバトンタッチ、足合わせなどの練習をしてきました。Jr100mに出て決勝に行けたこと、リレーで2位、総合6位で入賞してうれしかったです。この決勝に出れたり、リレーで2位、総合6位をとれたのは、仲間だけじゃなくて応援、いっしょに練習してくれた先生のおかげです。ありがとうございました。

保護者の声

T.Iさん：今年最後の部活ともあり、練習を休まず意気込んでる息子をみてきました。天候に恵まれ、その成果を精一杯発揮できている姿を見れて感動しました。また、一丸となって応援や、いっしょに走った・戦った仲間の姿を見ることができて嬉しく思います。ご指導して下さった先生方や我が子のように応援して下さいました保護者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

.....

T.Iさん、会場の熱気すごかったですね。応援もすばらしかったですね。がんばりが伝わってくる、みんな応援せすにいられない、そんな姿だったからですね。

5年Y とてもきつい練習です。例えばリレーのパスをとともがんばりました。うれしかったこと：本番の時、パスが成功した時や、最後に抜かせたことです。

5年H 午後練をみんなと協力してがんばって体力をつけました。ぼくは、ジュニア4×100メートルリレーにでて、他の選手がはやくてびっくりした。ぼくも、もっとはやくなりたいです。

5年I バトン練習やスタートブロックの練習をしました。みんな速そうでこわかったけど、バトンミスもなかったし、失格にもならなかったのでよかったです。陸上大会で見たことなどを次に生かしたいです。

(4×100MR)

6年O バトン練習をした。うれしかったこと：大会に行けたこと。

6年T クラウチングスタート・バトンの練習をした。うれしかったことは、4×100Mリレーで7位になったことと宮小が総合6位になったことです。

6年I スタートの練習や、100mのタイムをはかたりしました。ぼくは100mのタイムが学校で最後にはかったのが、14,15秒だったのが、競技場では13,50秒までタイムが上がっていて、うれしかったです。校長先生、応援ありがとうございました。

6年U 一秒でも速く走れるように動画をみて、学校でたくさん練習しました。6年生最後の陸上大会でしたが、補欠で走ることができなかつたけれど、陸上競技場に行けたことがうれしかったです。

6年N 部活や家で走るコツを教えてもらってそれを意識して練習した。4×100Mリレーで7位だったのがうれしかったです。みんなで午後練の時間をのばした成果が発揮されたからです。100mは決勝にいけなかつたけれど、自分の全力を出せたと思った。他の人が大会記録を出すのを目の前で見れて、それもいい経験になりました。

.....

選手のみなさん、感動をありがとう！！

大会に出場できなかった運動部の宮小っ子は、学校で応援してくれました。ありがとうございました。

今回選手になれなかつた宮小っ子も、がっかりすることはありません。そして、これを読んで、いいなあ、と思った宮小っ子も多いと思います。

どの子も、この大会のような大きな舞台に、これからもきっと出会います。チャンスは訪れます。自分が輝けるステージで、そのチャンスをいかせるように、日々の生活を頑張っていってほしいと思います。

